

わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。  
そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。フィリピ 4:9



被爆74年

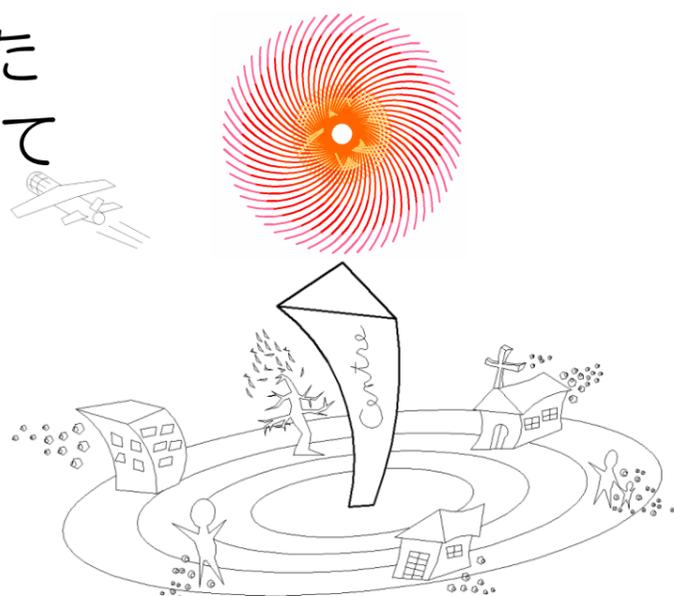
# 長崎原爆記念礼拝

〈聖餐式〉

## 死の同心円から平和の同心円へ

1945年 8月 9日、長崎にもたらされた  
原子爆弾。そこから“死の同心円”が広がって  
いきました。私たちはこの同じ場所に立ち、  
一緒に祈り、命を支え合う“平和の同心円”  
をこそ広げていきましょう。

ぜひご参列ください。



すべての被爆者を覚えて  
主の平和の実現のために

2019年 8月 9日(金) 10:30~

日本聖公会長崎聖三一教会

長崎に原子爆弾が投下された11時 2分  
あの日を思いつつ黙禱を捧げます。

司 式 主教 武藤 謙一(九州教区主教)  
説 教 主教 磯 晴久(大阪教区主教)  
式典長 司祭 柴本 孝夫(長崎聖三一教会牧師)

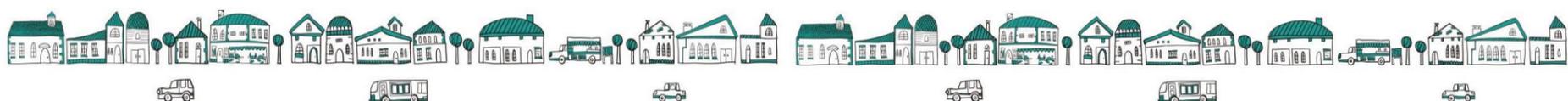
その他の聖職も司式・補式等に加わる可能性があります。

### 【 記念礼拝前後のプログラム 】

- ・ 8月 8日(木) 宗教者平和の祈り 於・長崎爆心地公園
- ・ 8月 9日(金) 午後、会食(愛餐会)。引き続き、証言、平和プログラム。

〈証言者〉被爆者 八木道子氏。被爆当時小学1年生(6歳)。爆心地から3.3kmの鳴滝町で被爆。

【 お問い合わせ 】 柴本孝夫司祭 長崎聖三一教会 電話/Fax 095(823)0455



主催 日本聖公会長崎聖三一教会 ・ 日本聖公会九州教区